



金沢市立玉川図書館 近世史料館
平成20年度 冬 季 展

“ 絵画・写真に見る金沢 ”

～ 明治、大正を中心に ～



期 間 : 平成21年 2月10日～3月22日
会 場 : 近世史料館 展示室
入場無料

はじめに

金沢市は、平成20年（2008年）4月に市制開始120年を迎えました。

明治22年（1889年）4月1日に市制町村制施行に伴い金沢区が廃止され、金沢市が誕生しました。このとき全国で合計31の「市」が誕生しています。

この度は、明治以降近代化していく金沢、藩政期の面影を残す金沢の姿を紹介するため、近世史料館所蔵の史料の中から明治・大正期を中心に絵図・版画・写真等を展示公開し、ご覧いただきたいと思えます。

展示史料一覧

No.	史料名	番号	年代	備考
鳥瞰図				
1	金沢市鳥瞰図	参考出品		
	鳥瞰図は都市、中でも観光地、名所などを題材として、上空からの視点で描かれたものである。しかしながら、鳥瞰図に描かれた空間は現実に視界に納まるものではなく、伝えたい箇所を強調したイラスト画ともいえるものである。			
	本図においても、金沢駅、兼六公園、金沢城などが大きく描かれ、駅から市街へは市内鉄道の路線が赤色で示され、停車場名が各々示された交通図の一面も持ち、兼六公園などの観光施設の他には寺社や史蹟の所在表示も目につく。			
	この図の作者は不明であるが、図中の記載事項から昭和10年代の金沢を描いたものと推測され、さらに、図中で最も大きく描かれる「金沢ホテル」が大きな意味を持つと考えられる。つまり本図は、「金沢ホテル」が同館の位置をアピールすると共に金沢の観光地図として作製したものではないかと考えられるのである。			
	金沢ホテルは金沢駅の開業当時より、旅館として駅前で営業しており、金沢ホテルと称するのは大正末年であり、欧米ホテル形式を採用した金沢での先駆的役割を果たした施設であった。			
2	金沢市鳥瞰図	k2-2581	昭和7年	産業と観光の大博覧会規模概要
	昭和7年に、金沢市主催で出羽町練兵場と金沢城址を会場に行なわれた博覧会に際して、刊行されたものである。作者の吉田初三郎は全国の鳥瞰図を作成している。			
3	金沢市鳥瞰図	090-1018-1	昭和7年	吉田初三郎画 複製

施設等

- 4 金沢監獄所絵図 k 5-14 彩色
金沢監獄所は、明治40年(1907)に建設され、現在愛知県犬山の明治村にその一部が移築されているが、展示の絵図は建造物や配置から、それ以前の金沢監獄所のものと推測される。
- 5 金沢停車場附近見取図 k 2-557 明治32年頃
金沢停車場の建設は明治30年末より始まり翌31年に開業するが、駅舎建設にあわせ、駅前の整備も進められた。本図には駅前の新設道路の計画の様子がうかがえる。
- 6 日本専売公社金沢地方局の写真と見取図 k 526-319
見取図は複写
写真は金沢図書館の旧景

寺社

- 7 加州松寿林大乘護国禅寺境地惣図 096.0-292 木版
- 8 尾山神社昇格慶賀祭御分霊神輿渡御行列 k 1-190 明治35年
明治35年4月26日、尾山神社は県社から別格官弊社に社格が昇格した。この図はその昇格を祝した慶賀祭の行列の様を描いたものである。

兼六園

- 9 金沢於公園記念標新築大祭之図 k 2-721 明治13年
- 10 金沢兼六公園之図 大 1136 明治35年 石版多色摺「如春写」
- 11 兼六公園版下絵図・同実測原図 090-597 明治24年

名所

- 12 金沢市浅野川稲荷座界限図 090-954 明治30年代 木版彩色
稲荷座は、明治30年(1897)並木町に開場。歌舞伎等の上演で賑わったが、明治37年(1904)、尾山座に改名。以後新派劇が多く上演された。
- 13 金沢城雪能景 090-1099-① 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
公園内大桜の風景 090-1099-② 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
尾山神社神門の景 090-1099-③ 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
浅野川大橋より向山を望む 090-1099-④ 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
東廓夜乃景 090-1099-⑤ 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
城南大乘寺門前の図 090-1099-⑥ 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
城南観兵式之図 090-1099-⑦ 明治30年9月 北陸名所図会(金沢名所)
- 14 金城勝覧図誌(乾坤) k 2-95-①② 明治27年7月 金沢市及び近傍勝地の概要
- 15 金沢才川々下ノ景 16.84-43 明治39年5月写 犀川神社周辺の風景
作成は明治39年であるが、内容は江戸期の情況にも通じるものがあり、手前に描かれているのは現在の犀川神社であるが、前身の春日社時代のものと考えられる。
春日社は明治元年犀川春日社と改称し、同7年には犀川神社と称するようになる。

絵はがき

16 産業と観光の大博覧会記念絵葉書 k 6-829 昭和 7 年

17 昭和七年春金沢博記念絵葉書 k 2-2964 昭和 7 年

町 並

18 卯辰山開拓図絵 k 7-177

19 卯辰山開拓録 k 2-3223 明治 2 年

慶応 3 年 (1867)、前田慶寧が卯辰山に藩の近代化を目指して建設した産物集会所、養生所、撫育所等の諸施設を紹介したもの。明治 2 年刊行。

20 金沢商店図絵 k 6-250 明治 21 年

21 金沢市電車開通記念写真帖 k 686-1159

金沢市内電車の開通前後の風景写真帖。

金沢市電は、大正 8 年 2 月 2 日、金沢駅前～兼六園下間の運行が開始され、その後、都市計画の進展等のため、昭和 4 2 年 2 月 10 日に 48 年間の幕を閉じた。

22 金沢市写真帖 k 291.4-1649 大正 13 年

23 金沢市写真帖(昭和 8 年) k 291.4-1650 昭和 8 年

24 大雪の金沢市街 k 214-2282 昭和 2 年

昭和 2 年 2 月 12 日、金沢は最深積雪 167 cm の大雪に見舞われ、家屋の全潰半潰、投雪による鞍月用水の氾濫、凍死、圧死等の被害が出た。その際の、第九師団の除雪の様子や金沢市民の生活を捉えた絵はがきで、当時の生活・町並が見られる。

また、昭和 15 年 (180 cm)、同 22 年 (143 cm)、同 38 年 (181 cm)、同 56 年 (125 cm) にも豪雪にみまわれ、市民生活に多大な影響を及ぼした。

25 大正 11 年 8 月 3 日金沢市大洪水ノ惨状 k 369.3-64 大正 11 年

大正 11 年 8 月 3 日の豪雨による金沢市大洪水の惨状を写した絵はがき。この豪雨のため犀川、浅野川の主な橋梁が流失、陥没などの被害を受けた。

26 金沢繁昌寿娛六 k 7-1208-① 明治 35 年

石版多色摺「如春筆」

27 金沢勝地賑双六 k 7-1208-②

表紙 金沢繁昌寿娛六より各部分を抜き出したものである。

※ 出品リストの番号は展示順を示しません。

※ 展示品を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。